

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 646 事業名 遠距離通学児童生徒に対する通学費交付事業（学校教育課）

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
取組	4	豊かな教育を支える環境整備

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～ 永年
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	林 素秀 (435-1139)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		教育総務費
	目		教育振興費
大	事業		教育振興事業
事	項目		遠距離通学児童生徒対策事業（学校教育課）

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
	○		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	<ul style="list-style-type: none"> 遠距離通学となる生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。 毛見トンネル以南の児童生徒の通学の安全確保を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 和歌山市滝畑に住所を有する生徒が、通学のため利用する交通機関の運賃相当額（半年定期2回分）を交付する。 毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託する。 				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付した。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託した。	通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付した。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託した。	通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付した。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託した。	通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付した。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託した。	通学のため利用する交通機関の旅客運賃相当額を交付した。毛見トンネル以南の児童生徒の就学を海南市に委託した。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	5,181	4,810	5,001	5,189	5,263	4,769	4,900	4,526	4,498	
伸び率 (%)	-	-	-3.5%		5.2%		-6.9%		-8.2%	
人件費	常勤職員	1,110	1,036	1,109	1,091	1,019	1,024	1,024	1,011	1,011
	非常勤職員		92	92						
	小計	1,110	1,128	1,201	1,091	1,019	1,024	1,024	1,011	1,011
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	5,181	4,810	5,001	5,189	5,263	4,769	4,900	4,526	4,498	
所要人数	常勤職員	0.14	0.14	0.14	0.14	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14
	非常勤職員		0.04	0.04						
主な予算内訳	教育事務委託料 4,467千円、通学費交付金 31千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	児童・生徒利用者数				年度目標値				
					実績値	52	57	51	47
	単位 人	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	通学途中の事故件数				年度目標値	0	0	0	0
					実績値	0	0	0	0
	単位 件	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度				
					年度目標値				
		全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>へき地における遠距離児童生徒は徒歩通学が困難であり、公共交通機関による旅客運賃相当額を交付することは費用対効果が図れると考えられる。</p> <p>毛見トンネル以南の児童生徒の海南市委託は今までの経緯、在校生が40人程度いることからそのまま継続することが望ましい。</p>
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載</p>	